

京都市における国民保護に関する取組状況について (平成 28 年 11 月～)

1 平成 28 年度京都府国民保護共同実動訓練の実施

(1) 実施日時

平成 29 年 2 月 2 日 (木) 午前 11 時～午後 2 時 30 分

(2) 訓練会場

京都競馬場 (主会場・テロ対処), 伏見港公園総合体育館 (避難所開設運営),
京都第一赤十字病院・京都大学医学部附属病院 (医療救護),
京都府庁・総理大臣官邸 (TV 会議・合同対策協議会)

(3) 訓練内容

大規模集客施設におけるイベント開催時の事案として, 避難誘導, 救出・救助, 除染, 被災者搬送及び避難所設置・運営 (外国人観光客等の避難誘導・医療救護含む) などの実動訓練を実施。

ア 京都競馬場では, 市消防と関係機関が連携し, 被災者の救出, 除染, 応急救護を実施するとともに, 消防ヘリや救急車による各医療機関への救急搬送を実施。また, 本市が現地調整所を設置し, 関係機関との情報共有を実施。

イ 伏見港公園総合体育館での大規模テロ災害を想定した行政主体の避難所運営は, 本市初の試みであり, 安否情報の収集を行うとともに, 京都市国際交流協会等との連携により災害時多言語支援センターを設置し, 競馬場での避難バスへの誘導から避難所での対応まで, 外国人への通訳支援を実施。

ウ 熊本地震の経験を踏まえ, 避難所では行政と地域医療との連携強化を目的として, JMAT (京都府医師会) や京都府看護協会の協力による医療救護訓練を実施。

(避難者 84 名<内外国人: 14 名 (※)>, 通訳ボランティア: 9 名)

※中国語: 7 名, 英語: 4 名, 韓国語: 3 名

(4) 参加機関

内閣官房, 京都市, 京都府, 京都市消防局, 京都府警察本部, 府内消防本部, 自衛隊, 医療機関, 指定行政機関, 指定地方行政機関, 指定公共機関, 指定地方公共機関 等
【約 41 機関, 約 1,200 名 (被災者役含む)】

2 京都府国民保護セミナー・弾道ミサイル対応図上演習の実施

(1) 日時

平成 29 年 11 月 2 日（木） 午前 9 時～11 時 50 分

(2) 場所

京都平安ホテル

(3) 内容

ア 京都府国民保護セミナー

「弾道ミサイル防衛に関する防衛省・自衛隊の取組について」

講師 自衛隊京都地方協力本部長

(参加者)

府内市町村・消防本部，府警本部，府危機管理関係職員 等

イ 弾道ミサイル対応図上演習

弾道ミサイルが府内の山間部，都市部に落下した場合を想定し，自治体及び関係実動機関の初動における措置・連携要領等について確認。

(参加機関)

京都市，京都市消防局，京都府，京都府警察本部，陸上自衛隊，海上自衛隊，航空自衛隊，自衛隊京都地方協力本部，海上保安庁第八管区海上保安本部 等

(4) その他

ア 弾道ミサイルの落下時の行動等について，京都市防災ポータルサイト「京都市防災危機管理情報館」に掲載。

イ 本市の J アラートシステムは，毎月 1 回，定期的に点検を実施。8 月及び 11 月に国が実施した情報伝達訓練においても正常な作動を確認。